

◆ 平成27年度 事業・収支報告 ◆

4月9日(土)にアミューズ豊田で総会を開催しました。平成27年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、平成28年度の事業計画・予算等は全て承認されました。

今年度からは、地域の防犯や交通安全など安全安心に関わる活動をより効果的に行っていくため、自治会連合会と交通安全連合会の組織を一体化し、交通安全活動を自治会連合会で行っていくようになります。

安全・安心のまちづくりに向けて、皆で協力して取り組んでいきます。

< 平成27年度 収支報告 >

収入		支出	
費目	収入額(円)	費目	支出額(円)
会費	1,690,000	会議費	500,148
交付金	12,433,700	事務費	2,383,249
負担金	600,000	支部助成費	7,360,000
前年度繰越金	549,145	視察研修費	1,018,206
雑収入	323	事業部活動費	3,202,589
合計	15,273,168	負担金	147,000
		予備費	0
		合計	14,611,192

◆ 平成28年度 事業計画・収支予算 ◆

【28年度事業計画】
「安全・安心の住みよいまちづくりの取り組みを推進する」を基本方針に、次の9項目に取り組めます。

- 1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる市政懇談会、市二役及び市議会との懇談会等の開催
- 2 安全・安心のまちづくり
交通安全街頭キャンペーンの実施、地区安全会議への活動支援、安全安心まちづくり推進大会
- 3 防災対策アクションプログラムの推進
家庭防災の日の推進、自主防災組織の強化

< 平成28年度 予算 >

収入		支出	
費目	予算額(円)	費目	予算額(円)
会費	1,695,000	会議費	600,000
交付金	18,230,000	事務費	2,784,000
負担金	684,000	支部助成費	11,825,000
前年度繰越金	661,976	視察研修費	1,110,000
雑収入	24	事業部活動費	4,652,000
合計	21,271,000	負担金	200,000
		予備費	100,000
		合計	21,271,000

自治会連合会HPの紹介



自治会連合会ではHPを開設しています。
連合会・地区活動を掲載し、市の補助金などの様子をダウンロードできます。情報発信及び交流の場の一つとして、より効率的・効果的な運営をしていきます。是非ご覧下さい。

自治会連合会ではHPを開設しています。

連合会・地区活動を掲載し、市の補助金などの様子をダウンロードできます。情報発信及び交流の場の一つとして、より効率的・効果的な運営をしていきます。是非ご覧下さい。

自治会連合会ではHPを開設しています。

連合会・地区活動を掲載し、市の補助金などの様子をダウンロードできます。情報発信及び交流の場の一つとして、より効率的・効果的な運営をしていきます。是非ご覧下さい。

- 4 地区自治会活動の推進
地域づくり組織への主体的取組み、地域組織のあり方の研究
 - 5 環境美化の推進
環境美化活動、啓発活動
 - 6 広報活動
連合会だよりの発行、ホームページによる情報発信
 - 7 役員及び会員の資質向上
自治会長研修会、役員視察研修、自治会長コミュニティハンドブックの発行
 - 8 自治会課題の解決及び組織見直しに向けた取り組み
組織見直しに向けた協議の実施
 - 9 協力事業
地域福祉や青少年健全育成、スポーツのまちづくり等への協力、津波対策事業基金への募金
- 各地域では地域づくり組織が設立されています。自治会連合会では、さらに地域力の向上を推進していくため、各種団体と連携を図りながら、活動を展開していきます。

交通安全活動について

安全をつなげて広げて事故ゼロへ

今年、死亡事故が多発しており、ほとんどが交差点での事故です。交差点では次の点に気を付けましょう。

市内の交通事故発生件数

	H28.1.1 ~ H28.6.30	H27.1.1 ~ H27.6.30	比較
事故件数	710件	677件	+33件
死亡事故	6件	1件	+5件

【歩行者】

- ・周囲の車に十分注意しよう。
- ・夜間などは自発光式反射材を着用するなど、運転手に自分の存在を知らせよう。
- ・横断歩道やその周辺に歩行者を見かけたら、一時停止し、歩行者の保護に努めよう。

7月11日(月)からは夏の交通安全県民運動が始まり、各地域ごとに街頭キャンペーンが行われます。

「おもいやり」ありがとうの気持ちを大切に、ひとり一人が交通安全意識を高めるように努めましょう。



◆ 安全安心のまちづくりに向け

特別功労賞が意味するもの



自治会連合会長 神谷 五郎

本年度もスタートして3カ月経過しました。新任の自治会長さんにとっては初の体験のことも、従来以上の内容を要求されることもあるので大変ですが、頑張りましょう。

自治会は住民の組織であり、住民の安全安心な生活のために全力投球で邁進しています。

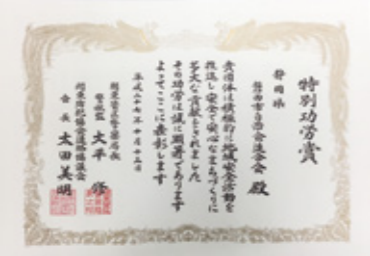
そのような実績を評価していたいて大変立派な賞を頂きました。それは関東管区の警察局長、防犯協議会会長からの特別功労賞です。「地域安全活動を積極的に推進し、安全安心なまちづくりに貢献した」と評価され、まさに皆さんが実践している安全安心の活動内容(青パト、見守りパトロール、交通安全等)がいかに全国的に大切なことであり、誇りになることが分かります。

これは会員だけでなく、住民の協力と情熱、更に今までの先輩たちの

実績に感謝することもできることながら、これからも全力で継続していくことこそ意義あることだと思えます。その波及効果も期待されます。

最近の熊本地震に見るように、自然災害列島の日本です。命と財産に関わるだけに適切な判断と行動が要求されます。連合会でも減災に備えて、防災対策アクションプログラムを推進しています。その1つに、恒例になった「家庭防災の日」があり、昨年は実施率が70% (それまでは20%程度) で住民の意識は向上していますが、まだまだです。

賞状を受け取る 神谷会長



皆さんの活動が評価され、特別功労賞をいただきました

また、進む少子高齢社会に対応すべく、地域づくり協議会の設立に、今年意識して全力投球で取り組み、努力して大きく前進する年です。

さらに、自治会連合会主催の「市政懇談会」は、市の施策について市長の話を聞くとともに、まちづくりに対する思いを伺い、市政に反映していくことを目的に、毎年、各地域で開催しています。是非、参加してみてください。市長、行政との顔の見える距離感・臨場感を実感できると思います。

連合会にも問題は山積みされていますが、時代・実態に対応して出来るものから実践できればと思います。

①自治会加入率の向上 ②女性役員の積極的登用 ③皆が活動しやすい体制づくり ④顔の見えるコミュニケーション ⑤高齢者の健康長寿などを推進できたらと思っています。

また、自治会役員の経験を是非多くの方にお願いしたいと思っています。様々な悩みに対しては、役員相互で相談しながら、解消していくことが大切だと思います。自治会長の複数年経験者は、「やってよかった」と言う方が多いです。まさに自治会の良き理解者であり、リーダーです。

最後に、健康長寿の秘訣は「人とつながり」であると言われています。元気な磐田を皆でつくりましょう。

回覧

VOL.28

平成28年7月12日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部

連絡先

磐田市自治会連合会事務局 <市自治振興課>

☎(0538)37-4811

http://www.iwatashi-jichikai.jp

磐田市

自治会連合会だより

～ 31 地区・305 自治会の力の結集で安全安心のまちづくりに努めています ～

◆ 各地域の取りまとめ役
を紹介します ◆

● 磐田支部

支部長 水野 勲



磐田支部内には13の地区があります。どこも少子高齢化が進み自治会の運営に苦慮しています。今年度は、各地区で「地域づくり協議会」が本格的に活動をはじめます。
今までの防犯・防災・福祉等を一体化してそれぞれの活動が充実したものとするようにしていきます。また、12月より民生委員の交代があります。自治会長と民生委員が協力して「安全で安心な生活」ができるようにしたいと思いますが、住民の協力が大切です。本年度もよろしくご支援をお願いします。



見付地区長 林 浩巳



中泉地区長 小柳 貴臣



西貝地区長 中村 和良



長野地区長 石川 和典



大藤地区長 岩本 佳光



南御厨地区長 藤原 孝一



今之浦地区長 樋口 榮造



天竜地区長 鈴木 克巳



於保地区長 寺田 和弘



向笠地区長 三浦 靖男



岩田地区長 青島 浄



御厨地区長 鈴木 延男



田原地区長 元場 千博



● 豊田支部
支部長 村上 勇夫

災害発生、教育、福祉、防犯等の分野で地域の役割は益々重要になっていきます。次世代の人たちに誇れる地域を作るために、行政と共に推進している新たな地域づくりは、発想の転換が必要で、先人達が残した地域の良き伝統を残しながら、時代の変化に対応できる地域力を備えなければなりません。地域力は、自らが参加し、関わり、育むことで強くなります。住み良い地域を次世代に引き継ぐことが私たちの使命と考えます。皆様の積極的な地域づくりへの参加とご協力を願っております。



富岡地区長 島岡 信生



豊田東地区長 伊井 正武



池田地区長 兼子 孝宏



青城地区長 大澤 房男



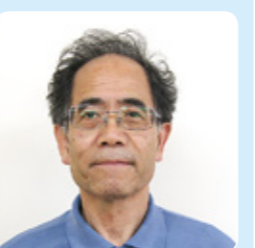
井通地区長 廣幡 喜代輔

● 福田支部

支部長 杉浦 聖



自治会運営は、年々難しくなっています。自治会加入率の低下や住民の価値観の多様化、高齢者世帯の増加、役員のなり手不足に加え、防災や防犯、地域福祉も大きな課題となって自治会運営を難しいものになっています。



福田南地区長 星野 秀次郎



豊浜地区長 伊藤 富次夫



西部地区長 田中 健一



福田東地区長 寺田 一秀



福田西地区長 白井 幹廣



● 竜洋支部

支部長 府川 光利

「異世代間交流」最近よく耳にする言葉ですが、少子高齢化が進む中、大変重要なことになっていきます。「子ども、地域のみなさん、お年寄り」地域行事に積極的に参加し親睦を深めることが大切です。この竜洋学府では、6月に地区内の広場に小学校3校の児童と中学校の生徒、それにPTA・地域の方々が、あわせて1600名程が一堂に集まり、グループをつくり、ゲームや食事をし、異世代間の親睦を深めるイベントが実施されました。中学生の指示に従い、和気あいあいのひと時を過ごしました。
小中一貫教育、学校運営協議会が進められている中、地域と学校との連携が大切です。



西地区長 吉野 博行



東地区長 根本 邦雄



北地区長 藤田 允

● 豊岡支部

支部長 仲川 勝彦



この3月26日に、今までの豊岡総合センターの多くの機能を取り入れた複合施設として豊岡中央交流センターが落成しました。既存の豊岡東交流センターとともに豊岡地区では、地域活動の拠点施設として多くの方々、施設を利用していただき、豊岡の新しい地域づくりをスタートさせました。10月には交流センターごとに自治会連合会と地域にある関係者団体と連携・協力して「地域づくり協議会」を発足させます。地域住民共通の願いである「安心・安全の住みよいまちづくり」のため、多くの皆さんの理解をいただき、役員の皆さんと力を併せて取り組みたいと考えています。



北地区長 深田 研典



南地区長 石川 好三



東地区長 山下 恭史

